

# 施策評価シート

評価実施年度：平成29年度

事務事業所管部局長  
(幹事部局)

教育長 鴨木 朗

電話番号 0852-22-5401

## ①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅲ-1-1 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実		
目的	〇ふるさとに愛着と誇りを持ち、次世代の地域を担う子どもを育成するとともに、基本的な生活習慣や社会性を身に付けた、感性豊かなたくましい子どもに成長できるよう、学校・家庭・地域が連携協力し、一体となった取組みを進めます。		

## ②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
ふるさと教育を35時間以上実施している小中学校の割合（年間）	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%	朝食を毎日とる児童の割合（年間）	目標値		97.0	98.0	99.0	100.0	%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	100.0	100.0						実績値	96.0	96.6					
	達成率	-	100.0	-	-				達成率	-	99.6	-	-			
県立高校への県外からの入学者数	目標値		162.0	174.0	187.0	200.0	人		目標値						%	
	取組目標値								取組目標値							
	実績値	151.0	184.0						実績値							
	達成率	-	113.6	-	-				達成率	-	-	-	-			
定性目標	平成28年度～平成31年度															
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）																

## ③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状 (客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度は8つの高校において高校魅力化・活性化事業を実施した。この8校における入学者の定員充足率は増加傾向にある。(平成23～28年度 76%→73%→69%→72%→77%→88%)</li> <li>県立高校への県外入学者数は、平成23年度から平成28年度は184名、平成29年度は184名と増加している。(うち魅力化8校は平成23年の39名から平成28年度は118名、平成29年度は115名)</li> <li>学校・家庭・地域の力を結集して子育て支援を行う「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」での学校支援事業は15市町村で実施され、実施割合が小学校76.5%、中学校69.8%となった。また、放課後子ども教室を実施している小学校区は75.1%であった。</li> <li>親学プログラム（子育て等に関する学習機会の提供）を活用した研修会が220回開催され、延べ5,935人の参加者があった。</li> <li>朝食を毎日とらない児童生徒の状況は、小学校低中学年では改善傾向にあるが、学年が進むに従い「時々とる、ほとんどとらない」割合が高くなっている。</li> <li>食育に関する島根県独自の教材「食の学習ノート」を全小学校で活用している。平成28年度は中学生用・高校生用を作成・配布した。</li> </ul>
---	--

## ④総合的な評価

評価時点での総合的な評価  A:順調に進んでいる B:概ね順調に進んでいる（見直す点がある） C:あまり順調に進んでいない	判断	その理由
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校魅力化・活性化事業を通じ、学校・家庭・地域が連携し子どもたちを育む取組みが着実に推進され、県立高校への県外入学者数も平成28年度は184名と大きく増加した。</li> <li>高校で地域課題解決型学習（地域課題を自ら発見し、他者と協働し問題解決に向かう探究的な学習）に取り組み、成果を上げてきたが、更なる学習深度の追求や各教科での探究的な学習の実施などに課題がある。また、中山間地域・離島の高校は小規模校で教員の定数配置に限りがあり、教科指導・生徒指導両面で教員の多忙・多忙感が生じている。</li> <li>学校・家庭・地域の力を結集し子育て支援を行う「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」では、各事業をつなぐ協議の場や仕組みづくりが進み始めた地域もある。</li> <li>「ふるさと教育」に関わる地域住民の固定化や高齢化が見られ、学習内容の固定化も散見される。</li> <li>基本的な生活習慣である「朝食を毎日とる」児童の割合は微増している。</li> </ul>

## ⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
(2)施策の目的達成に向けての課題	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで県外生徒を受け入れ、中山間地域・離島の高校の教育環境の活性化を図ってきた。一方で、他の地方自治体においても同様の取組みが始まっており、島根の教育をより一層魅力あるものに充実していくため、効果的な地域課題解決型学習の実施や各教科の「主体的・対話的で深い学び」の実現などに向け、各学校における人的、物的資源の充実が必要である。</li> <li>「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」において、「学校・家庭・地域の連携・協働」の機能が十分でない地域のレベルアップの必要がある。</li> <li>学校を中心に実施する「ふるさと教育」のこれまでの成果を活かし、地域で取り組む「ふるさと教育」を公民館等を中心として推進する必要がある。</li> <li>中学校・高等学校においては、食育を組織的に推進する体制が十分に機能していないところもあり、家庭と連携した取組みや生徒及び保護者への働きかけも十分とは言えない。</li> </ul>

## ⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての今後の取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>中山間地域・離島の県立高校と意欲ある市町村が一体となって実施する高校魅力化の取組みを引き続き支援し、これまでの成果をもとに対象高校を順次拡大するとともに、中山間地域・離島において高校魅力化と一体的・系統的に小中学校から高校・特別支援学校までを貫いて「教育の魅力化」に取り組む市町村を支援する。</li> <li>地域課題解決型学習の更なる深化や各教科での探究的な学習を進めるためICT環境を整備するとともに、校内体制及び地域との連携体制を一層整備していく。</li> <li>未開設教科・科目等のある中山間地域・離島の小規模高校において、国に対する教員の定数改善の要望を継続するとともに、教員の多忙・多忙感解消に向けた方策を幅広く検討する。</li> <li>「結集！しまねの子育て協働プロジェクト事業」において、学校支援や放課後支援など各事業の効果が更に発揮されるよう、市町村に対して働きかける。</li> <li>地域住民が当事者意識を更に高め、公民館などを中心として実施する「ふるさと教育」を更に推進する。</li> <li>家庭と連携した食育の必要性、重要性を教職員に対して周知する。また、「食の学習ノート」（中学生用、高校生用）をすべての学校で活用していく。</li> </ul>
---------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅲ-1-1 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実				
-------	-------------------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	食育推進事業	「毎日朝食を食べる」、「バランスのとれた食事にする」など、食に関する知識と食を選択する力を習得し、実践できるようにする。	8,086	9,098	保健体育課
2	社会教育主事確保・養成事業	・学校・家庭・地域が連携協力した子どもの教育に関わる環境づくりを推進する。・島根の地域の特性を生かしたふるさと教育を推進する。・地域づくりを担う人づくりを推進する。	2,605	4,379	社会教育課
3	家庭教育の支援体制整備事業	学校・家庭・地域社会が一体となって「地域の子どもを地域で育てる」気運の一層の醸成を図り、家庭教育の支援体制を構築する。	1,000	1,000	社会教育課
4	教育広聴・広報事務	県民の意見を教育行政に反映させるとともに、県民に教育行政に対する理解を深めてもらう。	1,248	1,210	教育庁総務課
5	「しまね教育の日」推進事務	県民一体となって本件教育の課題を解決していけるような機運を盛り上げるためにさまざまな取組を行う。	800	720	教育庁総務課
6	結集!しまねの子育て協働プロジェクト	地域住民が積極的に子どもの教育や子育て支援に関わる環境づくりを進め、学校・家庭・地域の連携・協力を推進する各事業を有機的に連携する仕組みを作ることにより、地域全体で子どもを育む気運のより一層の醸成を図る。	139,200	128,635	社会教育課
7	公民館を核とした持続可能な地域づくり推進事業	市町村が地域の教育資源を活用し、地域づくりに主体的に参画しようとする人づくりを進めるために、地域の拠点である公民館機能の強化、公民館活動の充実を図る。	12,497	14,099	社会教育課
8	教育魅力化推進事業	中山間地域・離島の県立高校と意欲ある市町村が一体となって実施する高校魅力化の取り組みを引き続き支援し、対象高校を順次拡大するとともに、中山間地域・離島において高校魅力化と一体的・系統的に小中学校から高校・特別支援学校までを貫いて「教育の魅力化」に取り組む市町村に対して活動費等を交付して財政支援する。	—	122,209	教育指導課
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					